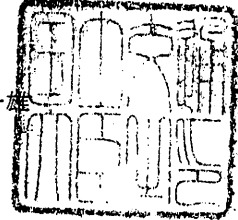


認定書

国住指第853号
平成 18年 9月 25日

吉野石膏株式会社
代表取締役社長 須藤 永一郎 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第七号及び同法施行令第107条第二号(間仕切壁(非耐力壁):1時間)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

FP060NP-0071

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

片面強化せっこうボード重張/片面せっこうボード張/軽量鉄骨下地間仕切壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

片面強化せっこうボード重張／片面せっこうボード張／軽量鉄骨下地間仕切壁

2. 寸法

壁高及び壁幅については、構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする。

3. 材料構成等

項	目	製品仕様等
被覆材 (間柱(スタッド)等の片面にaの強化せっこうボード(重ね張り)を、もう一方の片面にbのせっこうボード等(単板張り)を張る。)	a. 強化せっこうボード(重ね張り)(上張り材及び下張り材)	規格：不燃材料認定番号 NM-8615、JIS A 6901 形状：平板 表面の形状：平滑 端部の形状：スクエアー、テーパー、ベベル 厚さ(mm)：21・25 ± 0.5 かさ比重：0.75 以上 大きさ(mm)：最小 606 × 1,820、最大 910 × 4,500
	b. せっこうボード等(単板張り)	① せっこうボード 規格：不燃材料認定番号 NM-8619、NM-8612、JIS A 6901 形状：平板 表面の形状：平滑 端部の形状：スクエアー、テーパー、ベベル 厚さ(mm)：12.5・15・16・18・21・25 ± 0.5 かさ比重：0.65 以上 大きさ(mm)：最小 910 × 1,820、最大 1,210 × 4,500 ② 化粧せっこうボード 規格：不燃材料認定番号 NM-8614、JIS A 6901 形状等：形状、表面の形状、端部の形状及び大きさは前記①に同じ。 厚さ(mm)：12.5 ± 0.5 かさ比重：0.8 以上 ③ 強化せっこうボード 規格：不燃材料認定番号 NM-8615、JIS A 6901 形状等：形状、表面の形状、端部の形状及び大きさは前記①に同じ。 厚さ(mm)：12.5・15・18・21・25 ± 0.5 かさ比重：0.75 以上 ④ 両面ボード用原紙張／せっこう板 規格：不燃材料認定番号 NM-9363、JIS A 6901 形状等：形状、表面の形状、端部の形状及び大きさは前記①に同じ。 厚さ(mm)：12.5・15・18・21・25 ± 0.5 かさ比重：0.75 ± 0.075 ⑤ 両面ボード用原紙張／せっこう板 規格：不燃材料認定番号 NM-9639、JIS A 6901 形状等：形状、表面の形状、端部の形状及び大きさは前記①に同じ。 厚さ(mm)：12.5・15・16・18・21・25 ± 0.5 かさ比重：0.7 ± 0.07 ⑥ 両面ボード用原紙張／繊維混入せっこう板 規格：不燃材料認定番号 NM-9364、JIS A 6901 形状等：形状、表面の形状、端部の形状及び大きさは前記①に同じ。 厚さ(mm)：12.5 ± 0.5 かさ比重：1.25 ± 0.125

項 目	製 品 仕 様 等
<p>被覆材 (間柱(スタッド)等の片面に a の強化せっこうボード(重ね張り)を、もう一方の片面に b のせっこうボード等(単板張り)を張る。)</p>	<p>⑦両面ボード用原紙張/ガラス繊維混入せっこう板 規格:不燃材料認定番号 NM-9645、JIS A 6901 形状等:形状、表面の形状、端部の形状及び大きさは前記①に同じ。 厚さ(mm):12.5・15 ± 0.5 かさ比重:1.3 ± 0.13</p> <p>⑧ニトロセルロース樹脂系塗装/せっこうボード 規格:不燃材料認定番号 NM-0128、JIS A 6901 形状等:形状、表面の形状、端部の形状及び大きさは前記①に同じ。 厚さ(mm):12.5 ± 0.5 かさ比重:0.72 ± 0.072</p> <p>⑨アクリル系樹脂塗装/両面ボード用原紙張/せっこう板 規格:不燃材料認定番号 NM-0530、JIS A 6901 形状等:形状、表面の形状、端部の形状及び大きさは前記①に同じ。 厚さ(mm):12.5・15・16・18・21・25 ± 0.5 かさ比重:0.72 ± 0.07</p>
<p>下地材</p>	<p>上部ランナー 材料名及び規格 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ・ 電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313) ・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) ・ 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317) ・ 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) 等 形状・寸法(mm) □-45 ~ 500 × 40 ~ 75、厚さ 0.5 以上</p> <p>下部ランナー 材料名及び規格 材料名及び規格は前記の上部ランナーに同じ。 形状・寸法(mm) □-45 ~ 500 × 40 ~ 75、厚さ 0.5 以上 └-45 ~ 500 × 40 ~ 75、厚さ 0.8 以上 └形ランナーを用いる場合は、間柱(スタッド)の下部をタッピンねじで留め付ける。</p>
<p>間柱(スタッド)</p>	<p>材料名及び規格 材料名及び規格は前記の上部ランナーに同じ。 形状・寸法(mm) ①□-45 ~ 500 × 45 ~ 75 × 8 ~ 32、厚さ 0.5 以上 ②□-45 ~ 500 × 40 ~ 50、厚さ 0.5 以上 取付け間隔及び中空部の厚さ シングルランナー共通間柱構造の場合 取付け間隔(mm):455 以下 中空部の厚さ(mm):45 ~ 550 シングルランナー千鳥間柱構造の場合 取付け間隔(mm):227.5 以下 中空部の厚さ(mm):49 ~ 550 ダブルランナー並列間柱構造の場合 取付け間隔(mm):455 以下 中空部の厚さ(mm):91 ~ 1,050</p>

項 目		製 品 仕 様 等
下地材	振れ止め	<p>材料名及び規格 材料名及び規格は前記の上部ランナーに同じ。</p> <p>形状・寸法(mm) □-19～25×10、厚さ0.9以上</p> <p>取付け間隔(mm) 1,200以下(高さ方向)</p>
中空部断熱材 (必要に応じて、①または②を挿入する。)	① グラスウール	<p>規格：JIS A 6301、JIS A 9504 または JIS A 9521</p> <p>厚さ(mm)：12以上</p> <p>密度(kg/m³)：10以上</p>
	② ロックウール	<p>規格：JIS A 6301、JIS A 9504 または JIS A 9521</p> <p>厚さ(mm)：25以上</p> <p>密度(kg/m³)：10以上</p>
副構成材料	敷目板(必要に応じて取付ける。)	<p>種類及び寸法 せっこう板、せっこうボード、強化せっこうボード、繊維混入けい酸カルシウム板、グラスウール保温板またはロックウール保温板(保温板の密度はいずれも10 kg/m³以上) 寸法(mm)：厚さ4～25、幅45以上</p>
	スペーサー(必要に応じて取付ける。)	<p>種類及び寸法 せっこう板、せっこうボード、強化せっこうボード、繊維混入けい酸カルシウム板、グラスウール保温板またはロックウール保温板(保温板の密度はいずれも10 kg/m³以上) 寸法(mm)：40×40以上、厚さ4～25</p> <p>溶融亜鉛めっき等の鋼板 鋼板の厚さ(mm)：0.4以上 形状・寸法(mm)：□-4～25×40以上、幅40以上</p>
	タッピンねじ、ステープル、接着剤等	<p>重ね張り側の下張り強化せっこうボード取付け用 タッピンねじ 寸法(mm)：φ3.5以上×L32以上 留め付け間隔(mm)：200以下</p> <p>重ね張り側の上張り強化せっこうボード取付け用 ①ステープル 寸法(mm)：幅4以上、長さ32以上 留め付け間隔(mm)：100以下</p> <p>②接着剤 種類：せっこう系、炭酸カルシウム系 塗布量(g/m²)：200以上</p> <p>③タッピンねじ 寸法(mm)：φ3.5以上×L52以上 留め付け間隔(mm)：600以下</p> <p>取付け方法 上記①と②で下張り強化せっこうボードに取付け、必要に応じて、③を併用して、間柱(スタッド)に取付ける。</p> <p>単板張り側のせっこうボード等取付け用 タッピンねじ 寸法(mm)：φ3.5以上×L22以上 留め付け間隔(mm)：200以下</p> <p>間柱(スタッド)のL形下部ランナーへの取付け用 タッピンねじ 寸法(mm)：φ4以上×L13以上</p>

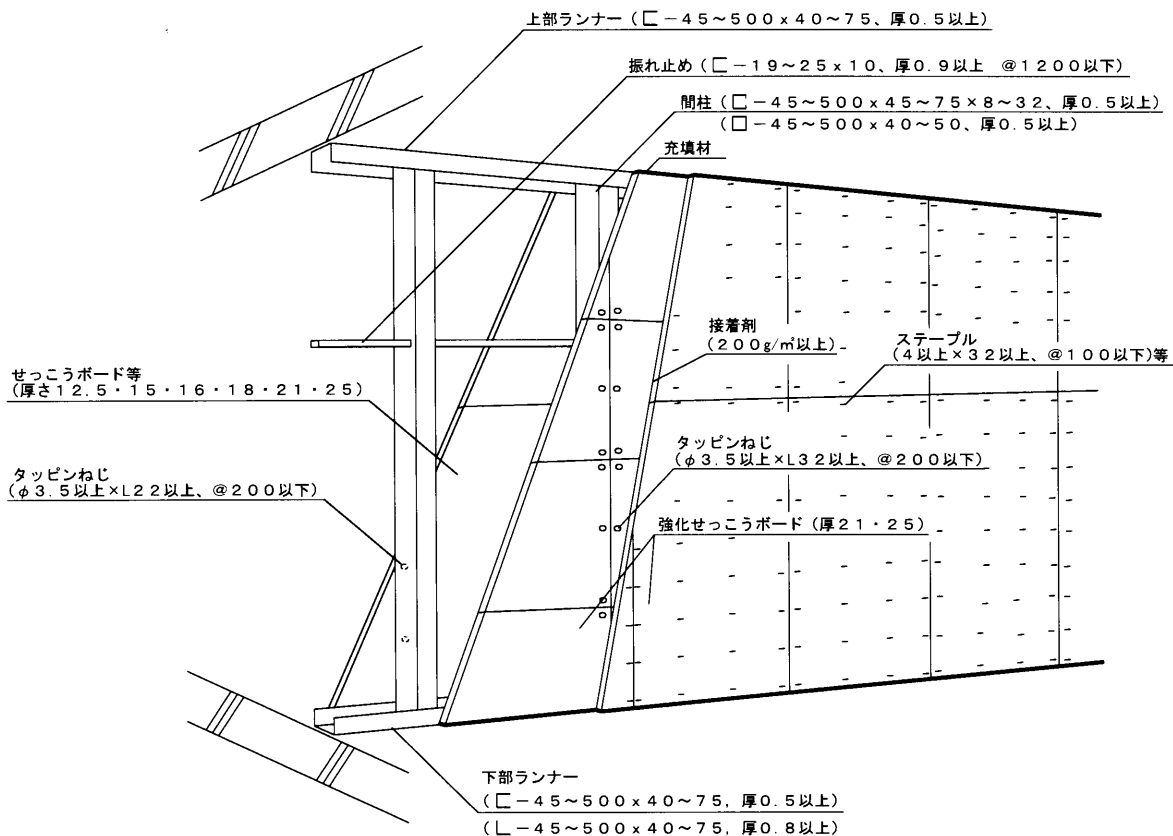
項 目		製 品 仕 様 等
副構成材料	タッピンねじ、ステープル、接着剤等	敷目板仮止め用 ・タッピンねじ(φ 2.8以上× L13以上) ・粘着テープ又は両面粘着テープ 粘着剤の種類：アクリル樹脂系、ポリアミド系、天然ゴム系、合成ゴム系 寸法：厚さ 3 以下、幅 75 以下 ・接着剤 種類：酢酸ビニル樹脂系、アクリル樹脂系、ウレタン樹脂系、エポキシ樹脂系、ポリアミド系、ポリサルファイド系、シリコン系、合成ゴム系、せっこう系、炭酸カルシウム系 塗布量(g/m ²)：200 以下
間柱(スタッド)及び被覆材の取付け方法	間柱(スタッド)	シングルランナー共通間柱構造及びダブルランナー並列間柱構造の場合は、間柱(スタッド)を 455 mm 以下の間隔で、シングルランナー千鳥間柱構造の場合には、間柱(スタッド)を 227.5 mm 以下の間隔で上部及び下部ランナー(以下、上下ランナーという)に差し込んで固定する。シングルランナー千鳥間柱構造の間柱(スタッド)は、必要に応じて、スペーサーを上下ランナーと間柱(スタッド)との間の中空部に挿入して、上下ランナーに固定する。なお、下部ランナーに L 形ランナーを用いる場合は、間柱(スタッド)の下部を φ 4 mm 以上× L13 mm 以上のタッピンねじで L 形ランナーに取付ける。
	振れ止め	高さ 1,200 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)の側面の切欠き部に差し込んで固定する。
	重ね張り側の被覆材	①下張り強化せっこうボード 下張り強化せっこうボードを φ 3.5 mm 以上× L32 mm 以上のタッピンねじで 200 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)に留め付ける。 ②上張り強化せっこうボード 上張り強化せっこうボードは、接着剤(200g/m ² 以上)を併用して、幅 4 mm 以上、長さ 32 mm 以上のステープルで 100 mm 以下の間隔で下張り強化せっこうボードに留め付ける。必要に応じて、φ 3.5 mm 以上× L52 mm 以上のタッピンねじで 600 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)に留め付ける。
	単板張り側の被覆材	せっこうボード等を φ 3.5 mm 以上× L22 mm 以上のタッピンねじで 200 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)に留め付ける。
壁端部(柱・はり等との取り合い部)の処理	重ね張り側の被覆材	下張り被覆材または上張り被覆材のどちらか一方に、あるいはこの両者に目透かしを設ける場合は、それぞれの目透かし部に次の①から③のいずれかを充填する。目透かし幅は 10 mm 以下とする。 ①シーリング材 種類 アクリル樹脂系、ウレタン樹脂系、ポリサルファイド系、シリコン系、酢酸ビニル樹脂系 ・充填量(g/m) 120 以上 ②ロックウール、ロックウール保温板 密度(kg/m ³) 10 以上 ③せっこう系、炭酸カルシウム系無機質充填材 充填量(g/m) 120 以上

項	目	製 品 仕 様 等
壁端部(柱・はり等との取り合い部)の処理	単板張り側の被覆材	<p>被覆材に目透かしを設ける場合は、目透かし部に次の①から③のいずれかを充填する。目透かし幅は 10 mm 以下とする。</p> <p>①シーリング材 種類 アクリル樹脂系、ウレタン樹脂系、ポリサルファイド系、シリコーン系、酢酸ビニル樹脂系 充填量(g/m) 70 以上</p> <p>②ロックウール、ロックウール保温板 密度(kg/m³) 10 以上</p> <p>③せっこう系、炭酸カルシウム系無機質充填材 充填量(g/m) 70 以上</p>

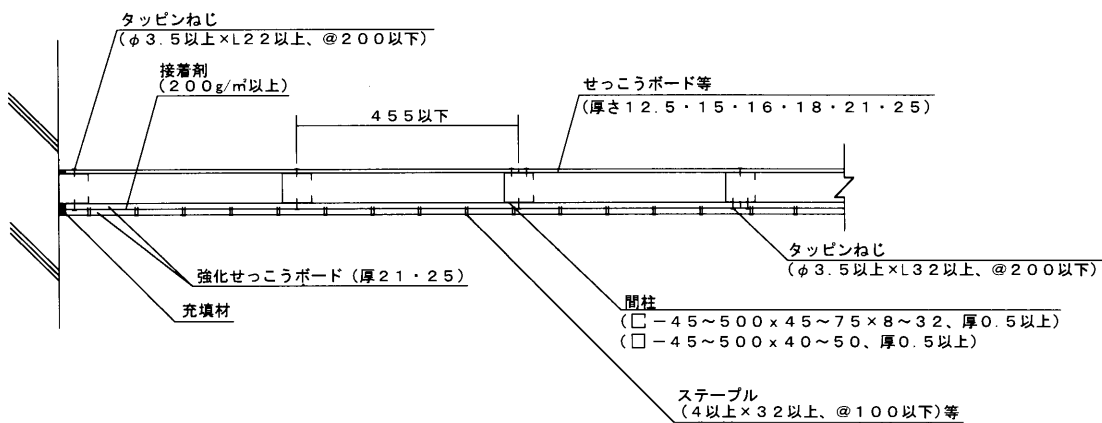
4. 構造説明図

(1) 透視図

(単位：mm)



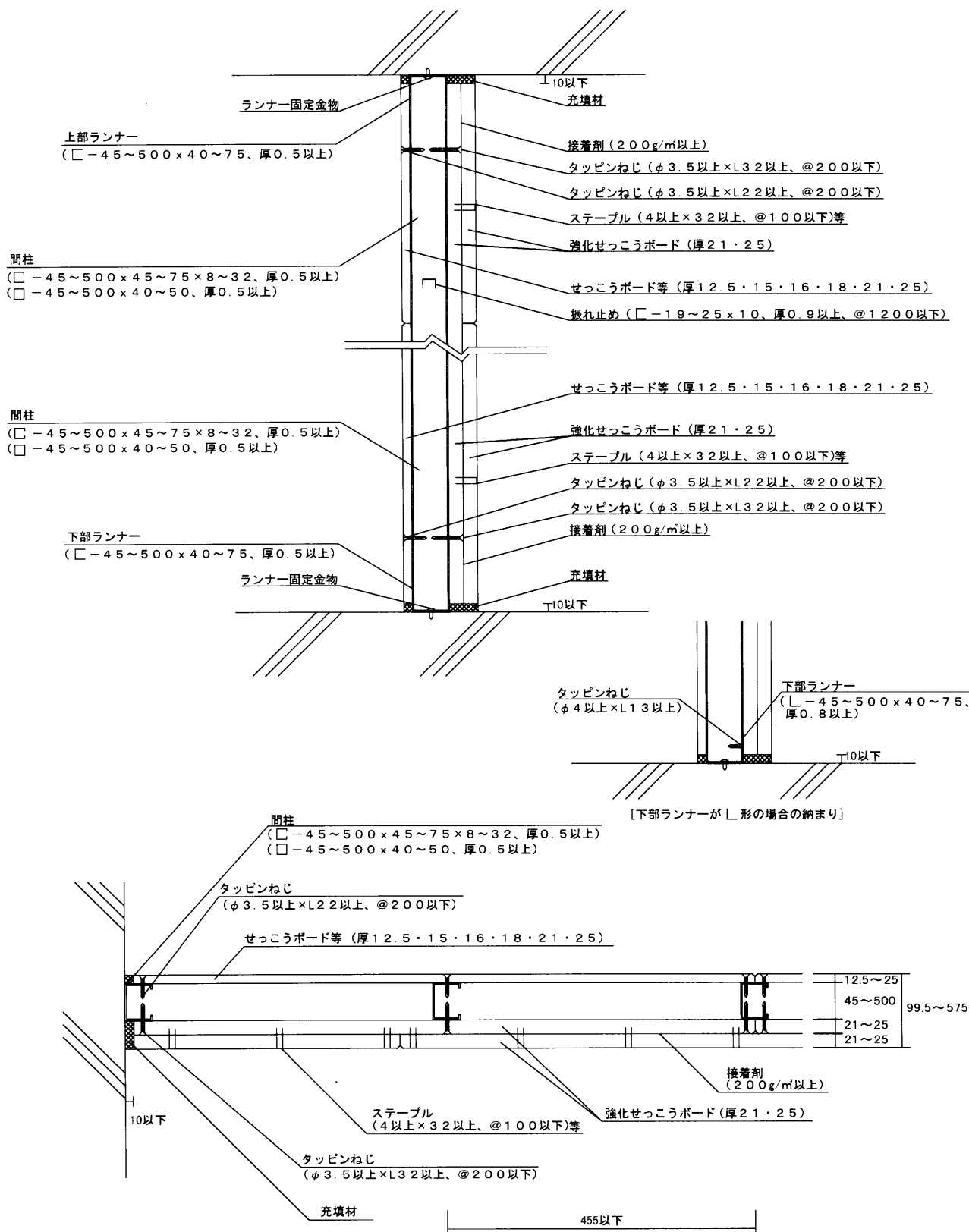
(2) 水平断面図



(3) 断面詳細図

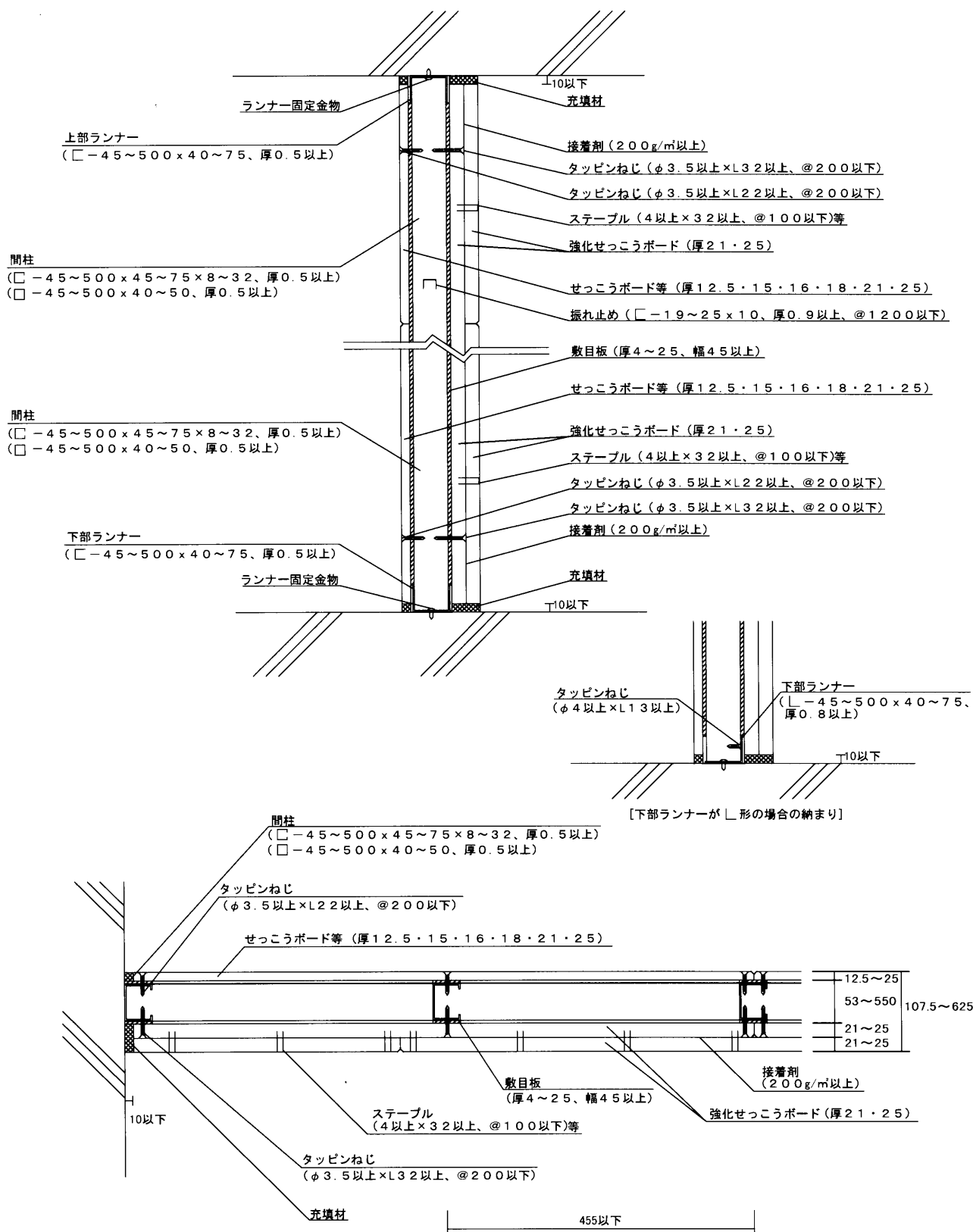
① シングルランナー共通間柱構造

(単位: mm)



②シングルランナー共通間柱構造 (敷目板仕様)

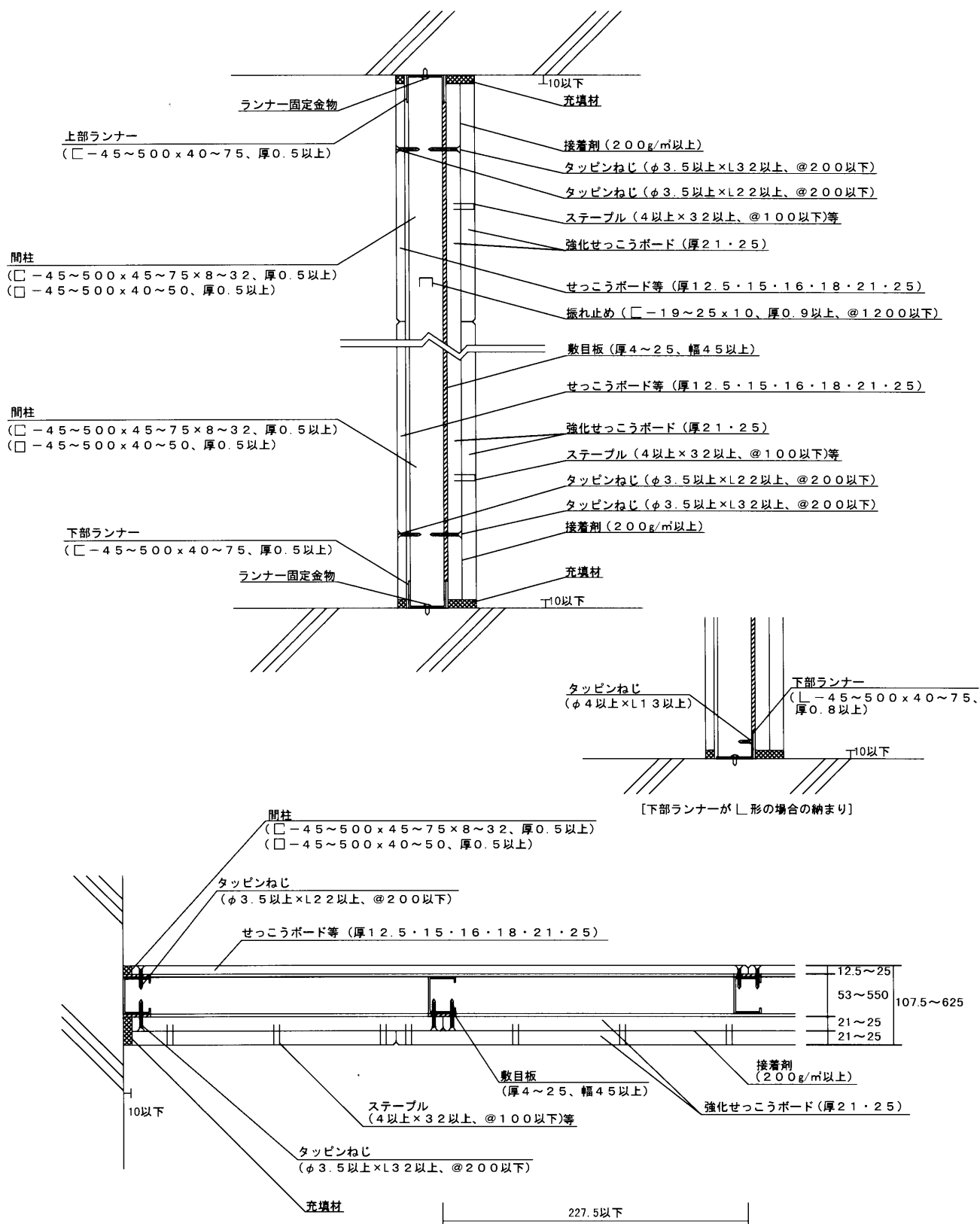
(単位: mm)



※必要に応じて、壁体中空部にグラスウール (厚12mm以上、密度10kg/m³以上) またはロックウール (厚25mm以上、密度10kg/m³以上) を挿入する

③シングルランナー千鳥間柱構造 (敷目板仕様)

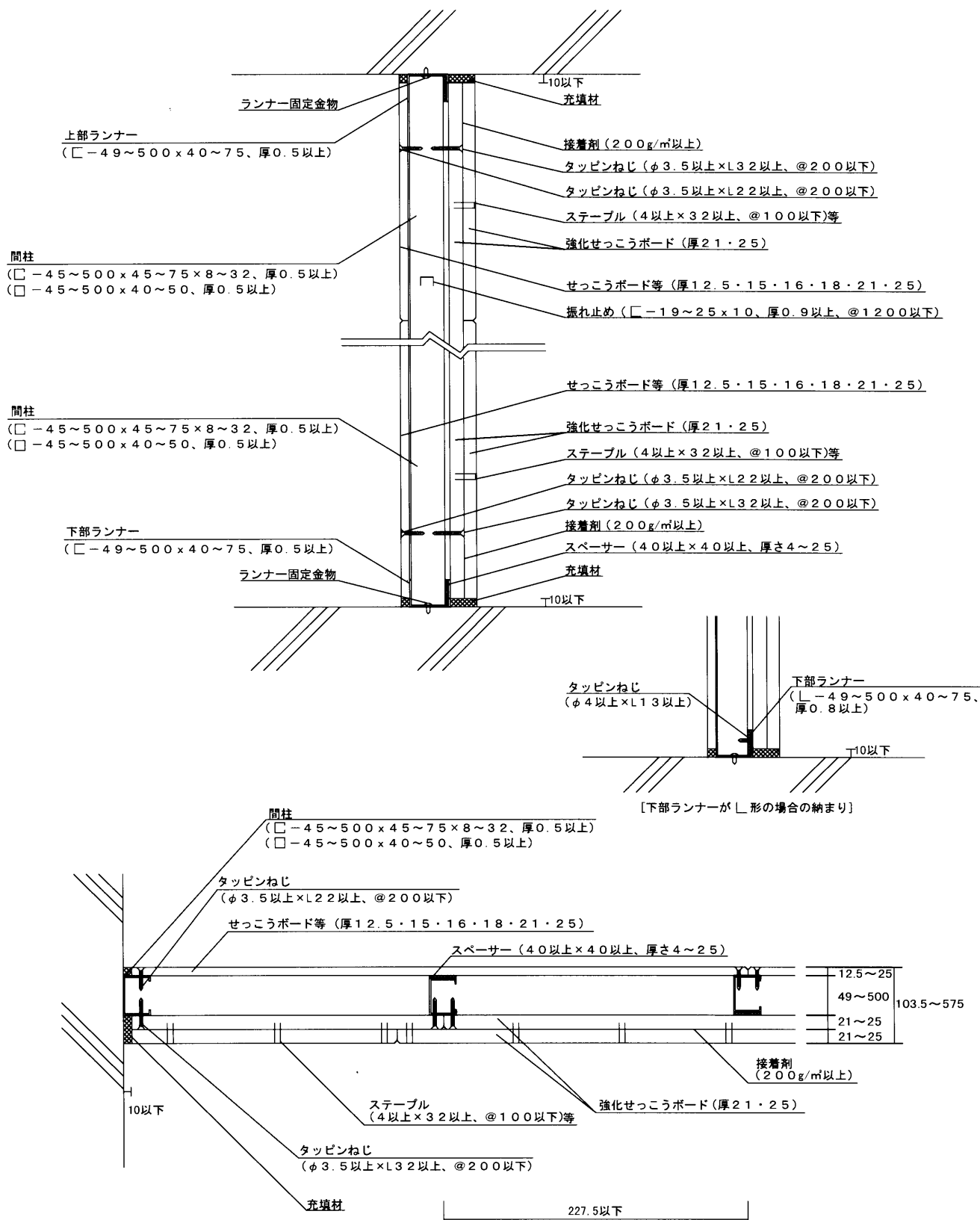
(単位: mm)



※必要に応じて、壁体中空部にグラスウール (厚12mm以上、密度10kg/m³以上) またはロックウール (厚25mm以上、密度10kg/m³以上) を挿入する

④シングルランナー千鳥間柱構造 (スペーサー仕様)

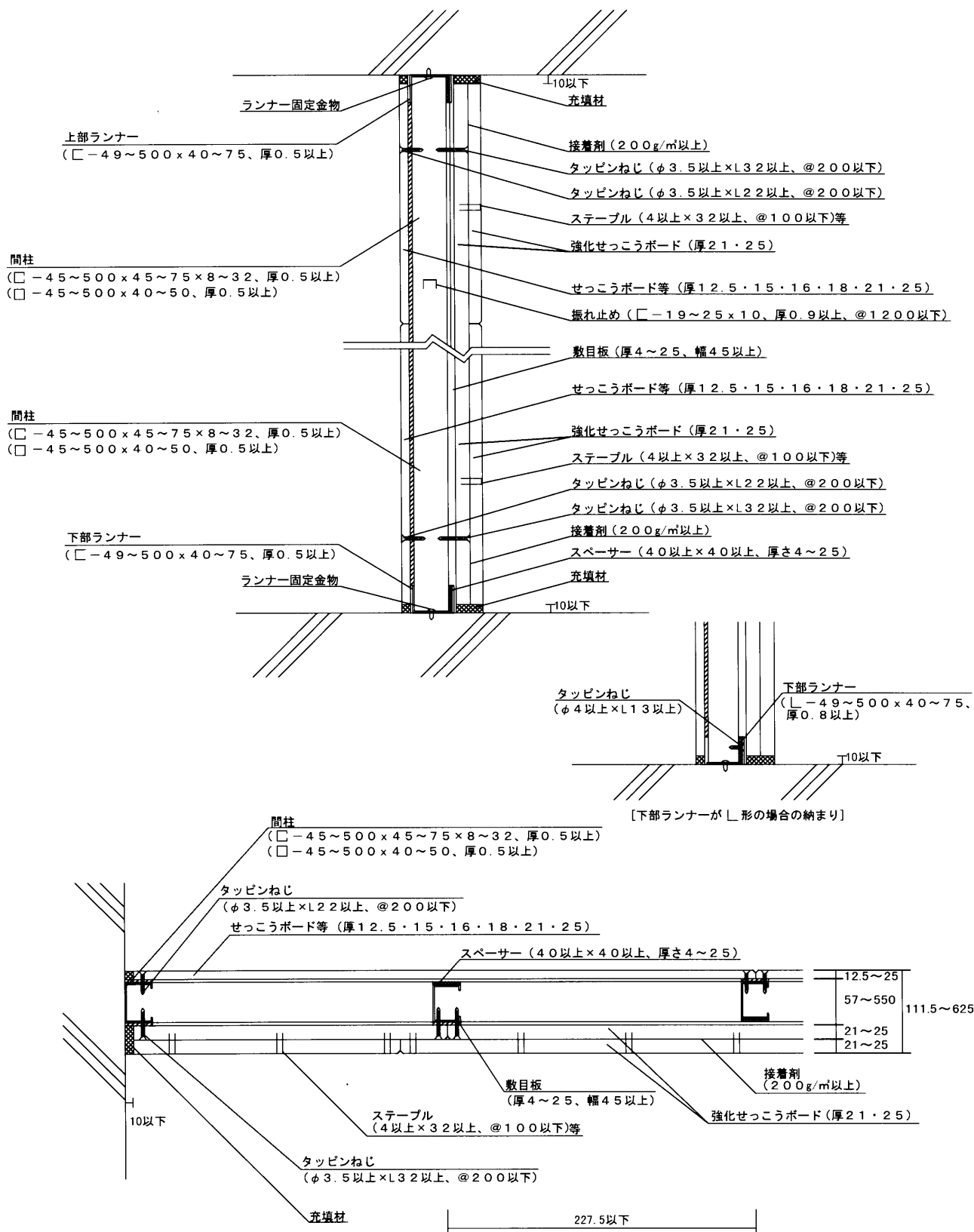
(単位 : mm)



※必要に応じて、壁体中空部にグラスウール (厚12mm以上、密度10kg/m³以上) またはロックウール (厚25mm以上、密度10kg/m³以上) を挿入する

⑤ シングルランナー千鳥間柱構造 (敷目板及びスペーサー仕様)

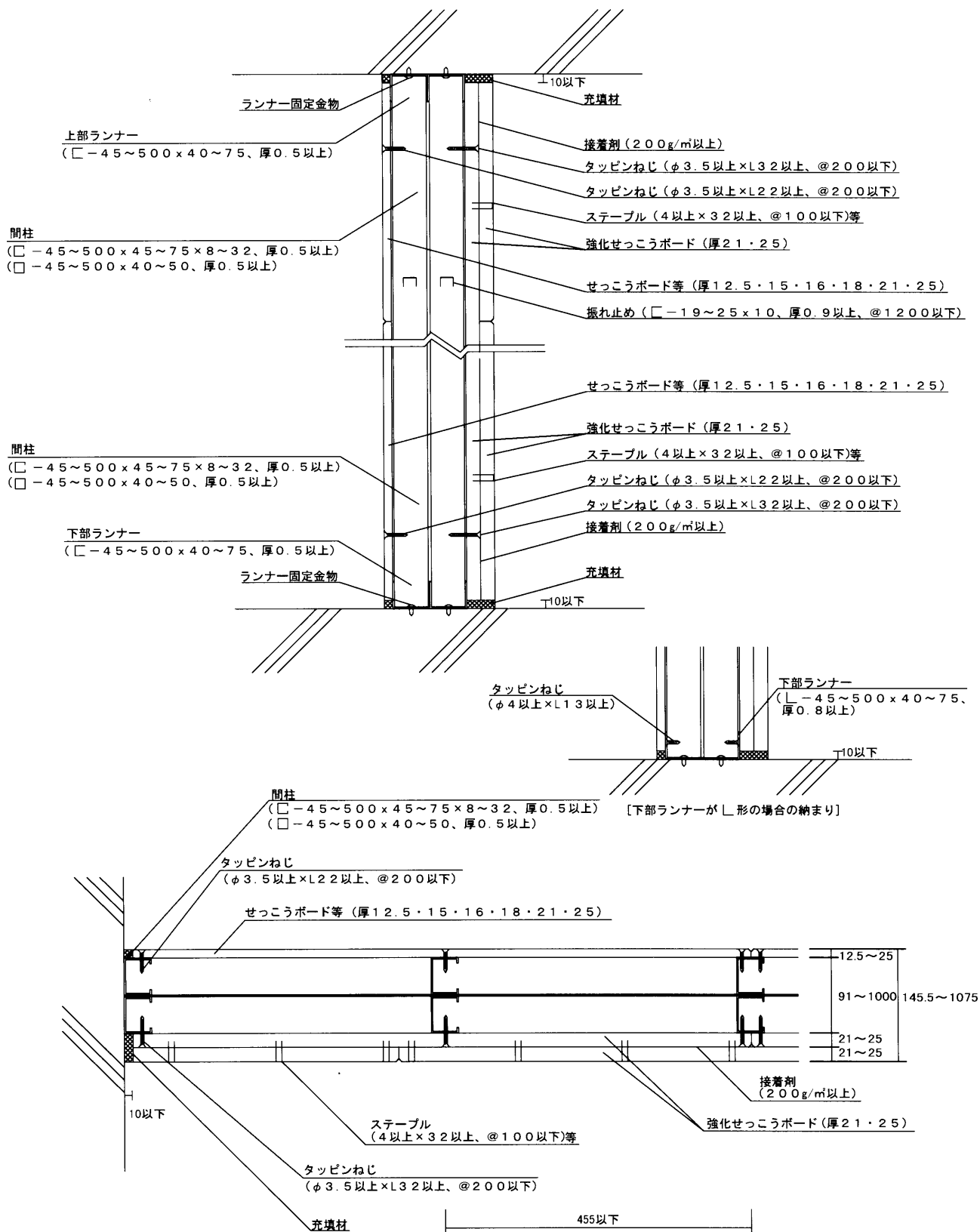
(単位: mm)



※必要に応じて、壁体中空部にグラスウール (厚12mm以上、密度10kg/m³以上) またはロックウール (厚25mm以上、密度10kg/m³以上) を挿入する

⑥ダブルランナー並列間柱構造

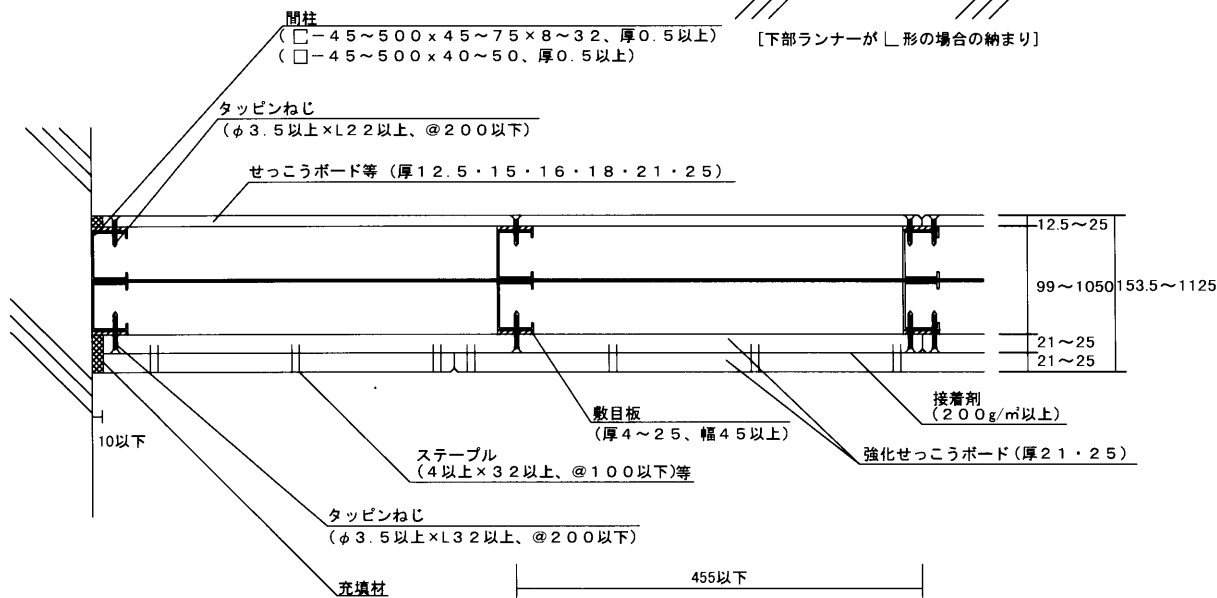
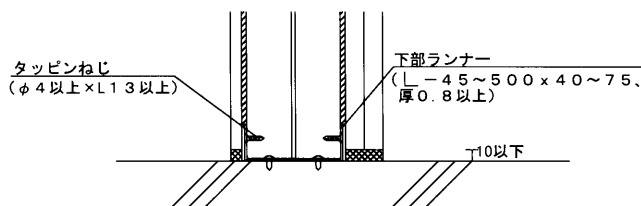
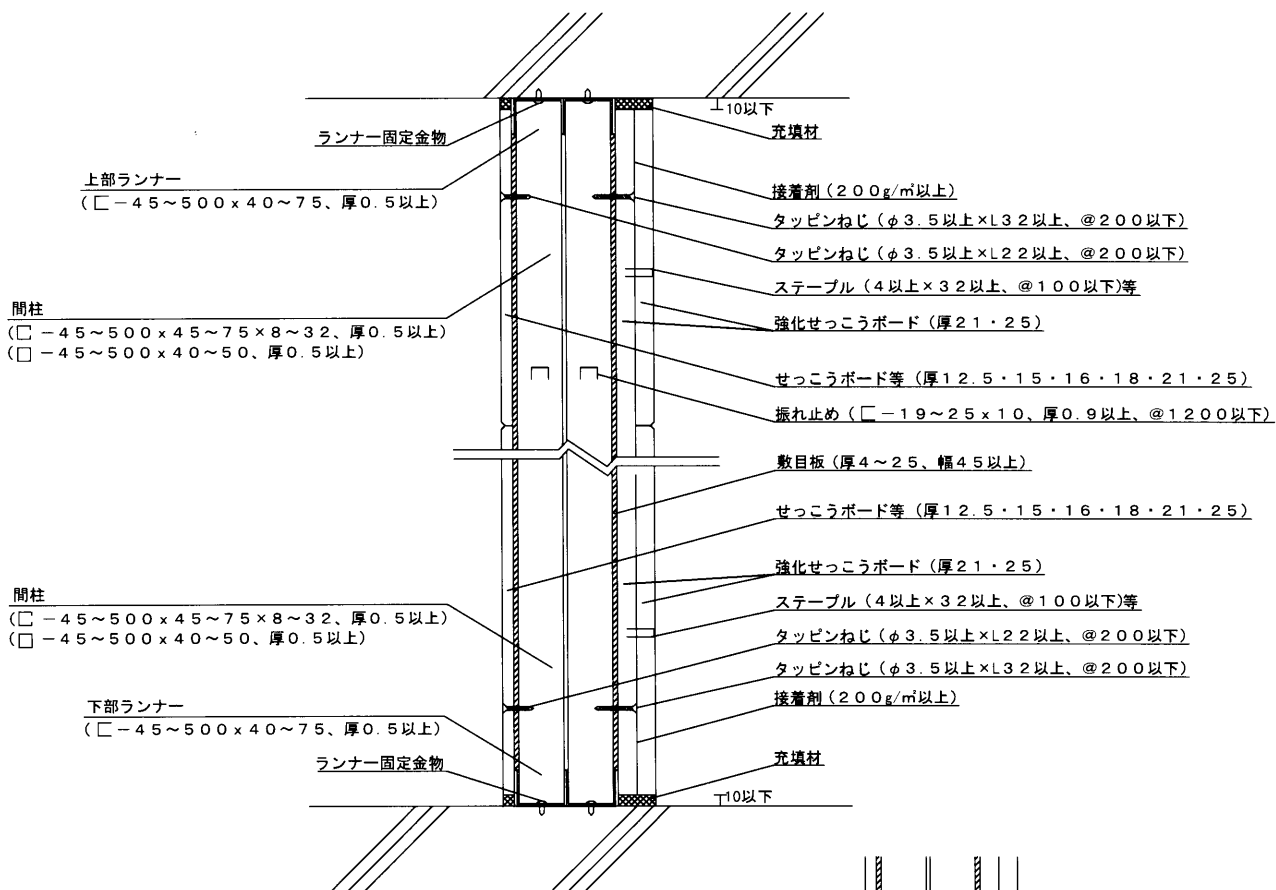
(単位: mm)



※必要に応じて、壁体中空部にグラスウール（厚12mm以上、密度10kg/m³以上）またはロックウール（厚25mm以上、密度10kg/m³以上）を挿入する

⑦ダブルランナー並列間柱構造（敷目板仕様）

（単位：mm）



※必要に応じて、壁体中空部にグラスウール（厚12mm以上、密度10kg/m³以上）またはロックウール（厚25mm以上、密度10kg/m³以上）を挿入する

5. 施工方法

(1) 上部及び下部ランナーの取付け

上部及び下部ランナー(以下、上下ランナーという)を取付ける位置に墨出しを行う。上下ランナーを取付ける躯体がコンクリートの場合は、ランナー固定金物等にて、鋼製の場合には、ランナー受けピース等を介してタッピンねじ、溶接等にて、それぞれ 900 mm 以下の間隔で上下ランナーを躯体に取付ける。

(2) 間柱(スタッド)の取付け

間柱(スタッド)を予め現場の寸法に合わせて切断する。シングルランナー共通間柱構造及びダブルランナー並列間柱構造の場合は、間柱(スタッド)を 455 mm 以下の間隔で、シングルランナー千鳥間柱構造の場合には、間柱(スタッド)を 227.5 mm 以下の間隔で上下ランナーに差し込んで固定する。シングルランナー千鳥間柱構造の間柱(スタッド)は、必要に応じて、スペーサーを上下ランナーと間柱(スタッド)との間の中空部に挿入して、上下ランナーに固定する。

なお、下部ランナーに L 形ランナーを用いる場合は、間柱(スタッド)の下部を ϕ 4 mm 以上 \times L13 mm 以上のタッピンねじで L 形ランナーに取付ける。

(3) 振れ止めの取付け

振れ止めを予め現場の寸法に合わせて切断し、高さ 1,200 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)の側面の切欠き部に差し込んで固定する。

(4) 敷目板の取付け

必要に応じて、敷目板をタッピンねじ等で間柱(スタッド)に仮止めする。

(5) 重ね張り側の被覆材の取付け

① 下張り強化せっこうボード

下張り強化せっこうボードを予め現場の寸法に合わせて切断し、 ϕ 3.5 mm 以上 \times L32 mm 以上のタッピンねじで 200 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)に留め付ける。

② 上張り強化せっこうボード

上張り強化せっこうボードは、予め現場の寸法に合わせて切断し、その目地が下張り強化せっこうボードの目地と重ならないように配置し、接着剤(200g/m²以上)を併用して、幅 4 mm 以上、長さ 32 mm 以上のステーブルで 100 mm 以下の間隔で下張り強化せっこうボードに留め付ける。必要に応じて、 ϕ 3.5 mm 以上 \times L52 mm 以上のタッピンねじで 600 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)に留め付ける。

(6) グラスウールまたはロックウールの挿入

必要に応じて、グラスウールまたはロックウールを壁体中空部に挿入する。

(7) 単板張り側の被覆材の取付け

せっこうボード等を予め現場の寸法に合わせて切断し、 ϕ 3.5 mm 以上 \times L22 mm 以上のタッピンねじで 200 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)に留め付ける。

(8) 壁端部の処理

被覆材と躯体との間に目透かしを設ける場合は、目透かし幅を 10 mm 以下とし、それぞれの目透かし部に充填材を隙間なく充填する。